

村上岩船定住自立圏共生ビジョン審議会 議事録

会議名	第1回 村上岩船定住自立圏共生ビジョン審議会		
年月日	令和7年7月4日(金) 10:30~12:00		
会場	村上市役所 大会議室		
出席者	<p>【委員】 関川村商工会女性部 越後村上物産会 村上市民生委員児童委員協議会連合会 村上市消防団 いわふね森林組合 村上地域グリーン・ツーリズム協議会 北新潟農業協同組合にいがた岩船本部 村上地域振興局健康福祉部 粟島郵便局 粟島浦村 村上市図書館協議会 NPO法人 都岐沙羅パートナーズセンター</p> <p>【村上市】 村上市 企画戦略課 企画戦略課 企画政策室 企画戦略課 企画政策室 企画戦略課 企画政策室 企画戦略課 企画政策室 企画戦略課 企画政策室</p> <p>【関川村】 地域政策課 地域振興班</p> <p>【粟島浦村】 総務課 企画政策係</p>	<p>常任委員 事務局長 副会長 団 長 代表理事組合長 事務局長 本部長 部 長 局 長 わかぜの会 会 長 理 事</p> <p>政策監 課 長 課長補佐 係 長 主 査 主 任 主 事</p> <p>主 幹</p>	<p>伊藤真由美 大滝 香織 海沼 順一 加藤 辰博 佐藤 寿一 鈴木 信之 瀬賀 一幸 園田 裕久 戸田 貢 林 久美子 山口又一郎 渡辺ひろみ</p> <p>須賀 光利 山田美和子 田村 政和 増子 友昭 山田 浩介 井上 花衣 安藤 由香</p> <p>石田 友和</p> <p>深沢 浩</p>
[進行]事務局	1. 開会 〈あいさつ〉		
副市長	2. 挨拶 〈村上市副市長あいさつ〉		
事務局	3. 委嘱状交付 〈副市長から委員へ委嘱状を交付〉		
事務局	4. 正副会長の選出 村上岩船定住自立圏共生ビジョン審議会条例第5条第1項の規定により、 会長副会長の選出につきましては、委員の互選となっておりますが、いかが いたしましょうか。 ご意見がないようでしたら、事務局から指名をさせていただいてよろしい		

	<p>でしょうか。 (賛成の声あり)</p> <p>ありがとうございます。それでは、会長に村上地域グリーン・ツーリズム協議会の鈴木信之委員、それから副会長に関川村商工会女性部の伊藤真由美委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。 (拍手により承認)</p> <p>〈就任のあいさつ〉</p>
鈴木会長（以下、会長）・伊藤副会長（以下副会長）	
事務局	<p>5. 議事</p> <p>これより、審議会条例第6条第1項の規定により会長が議長となります。それでは、会長よろしくお願ひいたします。</p>
会長	<p>それでは早速ですが、議事に入らせていただきます。議事（1）「令和6年度取組実績及び令和7年度取組内容」について、事務局より説明いただいた後、皆様から質問をいただきたいと思ひますので、事務局のほうで説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(1) 令和6年度取組実績及び令和7年度取組内容【資料1・2】 (事務局が資料を説明)</p>
会長	<p>ありがとうございました。それでは、皆さまから質問や意見がありましたら、よろしくお願ひします。</p>
委員	<p>林産物等の物流低コスト化事業ですけれども、森林基幹道岩船東部線の整備とありますが、これは今どのような状況で進んでいるのか、また今後、どのように進めていくのかお聞かせください。</p>
事務局	<p>森林基幹道岩船東部線ですが、朝日の笹平から関川村まで結ぶ林道で、総延長が21.89kmの計画になっています。昨年度までで、延長ベースで48%が完了し、笹平から上山田は通り抜けており、その先の門前から南大平までは通り抜けはできませんが、ほぼ完了しています。また、関川村内の区間もほぼ完了しています。完了した区間では、実際に間伐を実施しております。今後ですが、橋梁や国有林の工事や手続きに非常に時間がかかるということで、今年度中に県のほうで計画変更予定し、延長となりそうだということは聞いております。</p>
委員	<p>林業担い手育成支援事業ですが、これは今までどういったことをやっていたか、お聞かせください。</p>
事務局	<p>林業チャレンジ体験として、毎年、関川村と村上市で交互に場所を変えながら実施しており、昨年度は9家族24人の参加がありました。内容としては、最初に森林の話をして、枝打ち体験、木工教室を実施しており、小さいころから森林や林業に少し関わってもらって、興味を持ってもらうという目</p>

	<p>的でやっています。また、資料には載っていないですけども、モクリンフェスの中で、森林の散策や木工教室に子どもたちに参加してもらって、実施しています。県のほうでは、高校生対象に林業体験ツアーで、現場で実際に仕事を体験してもらうとか、そういう取組も実施しています。そういった取組を通して、担い手育成に繋がればと考えております。</p>
委員	<p>中学生対象では何か実施していますか。</p>
事務局	<p>中学生限定で、といった事業は特に実施しておりません。</p>
委員	<p>再生可能エネルギーですが、バイオマス発電が開始されるということで、雇用創出支援事業にも関わってくるのですけれども、人員不足の課題があります。ハローワークへ求人を出したりしていますが、なかなか雇用される方が出てこないということで、できれば再生エネルギーに関わる人員募集をしたいなと思っていましたので、農林水産課等にもお話して、協力隊を活用したらどうかと。市外、県外から人材を活用したいということでお願いしたいと思っているのですが、どのように進めるのかお聞きかせください。</p>
事務局	<p>木材が材料ということで、山から木を切ってくる方の人材を確保しなければならないという点について、課題の1つとして認識しています。林業経営はすぐにできるものではないですが、市外、県外から人材に入っただきながらということで来年度の導入を検討しているところです。</p> <p>また、林業に特化したものではございませんが、昨年度に株式会社リクルートと連携協定を締結いたしましたので、全国から人材を獲得したいということで、求人の方法など、職を求めている方にアプローチできるような細かなアドバイスをいただきながらやっています。</p>
委員	<p>1つ確認ですが、関川村で再生可能エネルギー推進事業の予算を10億円ほど計上しているのですが、これはどのように使われるのでしょうか。</p>
事務局	<p>今後、太陽光発電を、役場周辺の公共施設とつないで、停電時に融通できるようなマイクログリッドシステムという供給網を整備する事業で、約7億円、残りは公共施設のLED化工事や空調工事を見込んでいる金額になります。</p>
会長	<p>木質バイオマス発電について、村上市と関川村で実施予定と聞いておりますが、木材の調整は行政のほうでやっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>村上市も、未利用材、間伐材と市行造林からの確保を考えております。年間3万トン必要とのことですが、未利用材等で2.5万トン、残りは一般材、河川流木等で確保できる見込みです。</p>
事務局	<p>関川村のほうでは、バイオマス発電の建設は検討されていましたが、まだ事業として具体的に実施は決まっておられません。事業者を公募してもらったことを前提に進めていますが、近年の為替や物価高騰、材の確保等の課題もあり、なかなか手を挙げてくれる企業がないという話は聞いています。材の確保については、村上市と協議はしておりますが、基本的には関川村内の木材を活用して運用していくということで事業を検討しています。</p>

委員	<p>村上市の防災メールを登録しており、毎日のように熊の出没があったというメールが送られてくるのですが、こどもたちや高校生で林業に関わりたいと思う方が、山は危険、怖いという感覚にならないような対策があるのか、教えてください。栗島浦村も山に入る人がおらず、かなり山が荒れてきていて、倒木による道路封鎖もありました。バイオマス発電の木材の話もありましたが、何か関連して事業をできればと思いました。</p> <p>もう1点、農業に関することですが、岩船米の販売促進については議題にあがっておりましたが、そのほかの農作物に関する施策・人材育成等について、どういったことをされているのか教えてください。</p>
事務局	<p>熊対策としては、林業の面では皮剥ぎ対策として、テープを巻くなど対策はしていますが、なかなか有効な対策というのはない状況です。こどもたちが安心して山に入るといえるのは、難しい部分があるのですが、山が荒れないよう、村上市では森林環境譲与税を活用して、市が個人に代わって管理します、という事業をすすめている状況ではあります。</p> <p>岩船米以外の農作物といたしましては、主食用米からの転換として、高収益作物としてブロッコリーなどのへの転換を進めている状況です。</p>
委員	<p>農協といたしましても、県のほうで園芸産地ということをやっておりますので、ブロッコリーやほかの農作物についても、農協として組合員の方にこれを作ったらどうでしょうという形で進めているところです。</p>
委員	<p>どの項目についても、やはり人口減少が一番の問題になっていると思います。農業にしても林業にしても、人がいなければ事業をできないというのが実情です。学校の統合問題も出てきています。原因としては、やはり結婚される方が少ないということがありますが、人口を増やしていく方法を考えなければ、地域の消滅という方向になっていってしまいます。若い世代に地元に残ってもらうような事業をして、小学校のときから、ふるさとはいいところだよという教育をしていかないと、だんだんと人口が減っていくことになると思います。</p> <p>さきほど、林業の話が出てきましたが、市行造林も最初の10年くらいは補助金が出ましたが、その後は山も整理されず、荒れてきています。木材も建物もそうですが、管理が大事になっています。農業についても、私の集落では10軒ありません。大々的にやっているのは1軒になっています。経営している年齢をみると、若い人はほとんどおらず、60～70代です。後継者を育てていかないと、林業も農業もほかの事業もそうですけれども、人口を増やしながら地元に残ってもらう、人を育てるということをしていかないと、村上市がどんどん消滅に向かってしまうということを考えて、今後事業をしていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>人口減少ということで、地域おこし協力隊などの方も3年の任期後に残ってもらうような取組が必要だと考えております。起業支援等、いろいろな取組を進めていく必要があると思っています。</p> <p>人口減少は全国で進んでおり、問題になっています。村上市でも、総合戦</p>

委員	<p>略を策定して、ありとあらゆる分野に対してどんな対策をとるかということで、策定しています。国のほうでも、今後は人口は減っていくのだと、減った中でも維持できるような取組を進めたいということでもありますので、村上市でも、減っていくけれども維持できるようにということを取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>面白い事例があって紹介させていただきますが、胎内市の施策で、高校生を集めて、いくつかのチームに分けて胎内市内の企業の話聞いてもらうというのをやっていました。進学や就職で地元を離れると、いざ地元に戻ろうとしたときに、戻ること自体が難しくなってしまいます。中学校や高校の段階で、ある程度、仕事や地元企業を知るきっかけが必要なのかなと思いました。</p>
事務局	<p>関川村でも同じような取組を数年前から実施しています。未来のハローワークと題して、教育委員会のほうで実施しています。小学校6年生と中学生を対象にして、村内の企業から概ね10社くらい、体育館に集まって、企業紹介をしてもらいます。森林組合、建設業、最近だと保健師、行政のほうや、農業など、いろいろな業種で取り組んでいます。意外と村民も村内の企業を知らないというのがありますので、小学生、中学生くらいから、いろんな企業があるということを知ってもらう機会は大事なのかなと感じました。</p>
委員	<p>村上市では、ジョブフェスという取組をしている団体があり、そこでいろいろなお仕事を体験できる機会にしようということで、消防署や警察署、地域の飲食店などの様々な職種の方たちが協力されて、2,000人近い方が参加されました。今年度が2年目になる取組だったと思いますが、とても有意義だったし、この地域でこういう体験ができるということで、親子連れの方が喜ばれていましたので、いい取組だったと思っています。</p>
委員	<p>2年くらい前まではコロナウイルスの影響が続いていたのですが、昨年度から理科教育センター、ことばとこころの相談室、図書館事業など、すべて実績が向上してきています。少子化といいながらも、このように実績があがってきているというのはすごいことだなと思っています。図書館も、来館者数や登録者数、貸出冊数、移動図書館車の実績がすべて向上していました。今後、少子化や過疎化のなかで、どのようにサービスを提供していくかが課題ですが、移動図書館や電子書籍サービスなどを検討しているところですが、やはりお金がかかる話になってきます。過疎化、少子化に対応していくお金の部分というのは、それぞれの市村が圏域として支援していく必要があると思います。移動図書館車は古くなってきており、軽トラをすこし作り変えるなどして対応する話を図書館協議会のほうで話しておりましたが、こういった話はこの共生ビジョン審議会のほうにも届いているのでしょうか。</p>
事務局	<p>共生ビジョンの中に記載はありませんが、移動図書館については財政健全化集中取組期間の中で、移動図書館車が非常に古く、大型のものが2台あるということで、修理代も高額になってきていますので、早急に今後のありかたを考える必要があるため、庁内で意思統一をし、検討をしているところになります。今後、生涯学習課のほうでしっかりと取組が進んでいくものと思っていますし、担当課長からもそのように話をいただいております。今年度中に結論が得られるように、今、進めているところでございます。</p>

委員	<p>意見を2つ述べさせていただきます。村上岩船地域医療懇談会事業は、地域医療を担う人材の掘り起こしということで、中学生と高校生に医師体験してもらおうという活動があります。とても有意義だと思いますが、この体験をした人が実際に地域医療を担ってくれるのかというところが少し疑問に思いました。例えば、地域医療に従事している先生にお話を聞いたりということがここでなされたのか、もしくは少し提案ですが、この地域のこどもたちではないが、外部で医療を勉強している生徒を対象にして、この村上岩船圏域で地域医療に従事している先生からお話を聞くといったようなことを市独自でやってもいいのではないかと思います。</p> <p>また、フォーラムも、参加者は学生よりもっと上の形だと思いますが、若い人向けに例えば学校に出張する形で開催することで、若い人たちがこの地域で医療に従事するためにはどのようなものが必要かということを知る機会を用意するなど、意見交換ができる場があってもいいのかなと感じました。</p> <p>もうひとつ意見となりますが、この圏域共通の課題として、村上総合病院で赤ちゃんが産めなくなったという問題があると思います。これはかなり深刻な問題で、対策として村上市のほうでも産後ケア事業を行っておりますが、こちらにも問題があるように思っています。具体的には、入院、訪問支援と通所の3種類があるのですが、利用するには厳しい審査があります。だれでも使えますよという形でやっていますが、実際使いたいとなると、非常にハイリスクな方であったり、いろいろなことを質問されて、利用対象者になれなかったという話を結構聞いています。産後ケアの一番の目的は、産後うつであったり、虐待に陥らないようにすることですが、未然防止になっていないという点が問題だと思います。通所に関しては施設としては新発田市に1か所しかなく、もしくは病院や参院に通所するという形になると思いますが、やはり産後のお母さんたちがそこまで通って、デイケアを受けて、となるとかなりハードルが高いと思います。村上市や関川村に、産後ケアが気軽に受けられる場所があることで、この場所で産んでみよう、2人目も考えてみようというところに行きつくと思います。今の状況だと、こどもを産むということがすごくハードルが高いです。共生ビジョンには記載されていないですが、そうした事業にもぜひ取り組んでいきたいと思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。時間も無くなってまいりましたので、ほかにご意見があればお聞かせください。</p>
委員	<p>昨年あたりから全国で森林火災が頻発しておりまして、その原因が野焼きである現場もかなりあります。先ほどからの林業の話にもつながりますが、何十年もかけて林業従事者の皆さんが育ててきた山林を、野焼きが原因で森林火災になり、市民の生命財産を脅かしています。防災メールや放送など、防止策もいろいろやっていますが、どうしても春先になるとあちらこちらで野焼きの煙が上がっています。私どもとしても、これを食い止めたいと思い、いろいろPRはしておりますが、ある程度の罰則を加えるとか、強化しなければならぬと、他人事ではない問題として考えております。なにか具体策があればぜひ考えていただきたいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。事務局のほうで意見として検討してください。物産会のほうでは、ふるさと納税のお米等の問題がありますが、いかがで</p>

委員	<p>しょうか。</p> <p>ふるさと納税のほうでは、令和6年度産のお米はほとんど在庫がないか、行き先が決まっているものになり、来年度産のお米の予約受付をしています。4月、5月は非常に多くの寄付を頂いたんですけれども、6月は昨年度の半分程度になっています。農業をされている方に、ぜひふるさと納税に参画していただいて、盛り上げていきたいということで営業をしておりますが、やはり人材の課題や、低温倉庫が自分のところがないという課題があります。そういったところを、農業をされている方の中で連携してできることがあればと感じております。今後、お米などの食や、伝統工芸につきましては、現在展開されている方が一生懸命頑張ってくださっているので、そこを伸ばしていくというのもありますし、体験系ということで、まだ本決まりではありませんが、そういったものも取り入れていきたいと考えております。</p> <p>もう1点、資料では物産会の予算として3市村とも0円で計上されておりますが、粟島浦村さんからは3千円をいただいておりますので、ご確認ください。</p>
委員	<p>公共交通ネットワークの関係で、去年から村上市内のコミュニティバスが海岸線のところを通るようになり、非常に便利になったと思いましたが、乗り合いタクシーとの兼ね合いもあると思いますが、バスの時間とフェリーの時間をうまく調整した運行時間を作っていただきたいという要望です。6月からは土日、島外の方が日帰りしやすい運行ダイヤになっています。車で来る方が多いですが、一部、公共交通機関で来られる方もいますので、フェリーの時間とあまりかけ離れないよう、対応を検討していただけると非常にありがたいです。</p>
委員	<p>共生ビジョン審議会条例の第6条ですが、委員定数の半数で開催となりますが、半数休むことはあまりないかもしれませんが、委任状のようなものがあったらよろしいのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>昨年度、実際に調整がつかず、日程変更をして開催いたしました。今後も、可能であれば日程変更等して、皆さまから直接ご意見を頂きたいと思っております。</p>
会長	<p>年に2回になりますが、みなさんと共有してぜひ出席していただければと思いますので、またよろしくお願ひいたします。</p> <p>みなさま、いろいろなご意見をいただきましてありがとうございました。時間になりましたので、以上をもちまして議事を終えたいと思っております。進行を事務局の方にお返しします。</p>
事務局	<p>6. その他 〈事務局より事務連絡〉</p>
事務局	<p>7. 閉会 以上をもちまして、令和7年度第1回村上岩船定住自立圏共生ビジョン審議会を終了します。本日は大変ありがとうございました。</p>